

# さぴあ クロスワードパズル

エコのヒント

(2023年1月)

- 1 12月18日まで開催されるサッカーのワールドカップ。さて、今回の開催国は？

4 肩から反対側の腰に斜めに掛ける、輪になったひも。駅伝ではこれがバトンです。

6 □害、□戦、□帯。□に共通して入る漢字の読みは？  
ひめ じ じょう やく しま しらかみさんち

7 姫路城、屋久島、白神山地など日本には現在、合計25件の世界○○○があります。

9 いつまでも気になって、残念に思うこと。「心○○○」といいます。

11 流星のうち、特に光度の強いもの。燃え尽きずに地上まで達したもののがいん石です。

13 鎌倉時代を代表する仏師。快慶らと共に東大寺南大門の金剛力士像を造りました。

15 冗談のつもりで言ったことが本当になること。「○○から出たまこと」といいます。

17 平□、□一、□等。□に入る漢字の読みは？

18 漢字で書くと「牡蠣」。「海のミルク」とも呼ばれます。

19 「○○一文」とは、ほんのわずかなお金のこと。「不良品には○○一文払えない」などと使います。

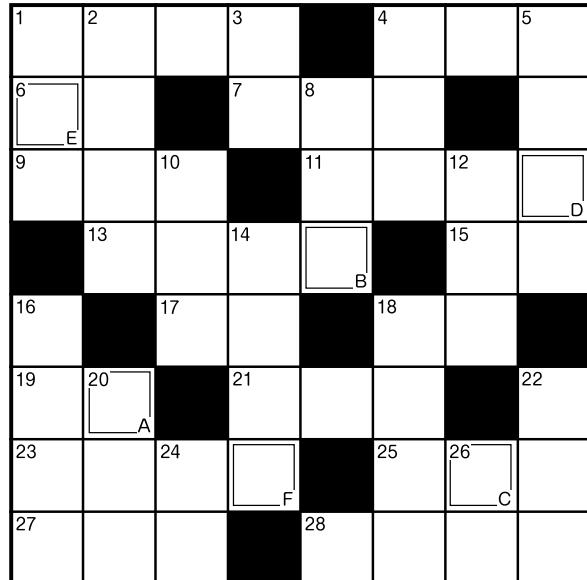
21 関ヶ原の戦いに勝利した徳川家康は、1603年に○○○大将軍に任命されました。  
せきが がはら とうくわいせいやす たいしうぐん

23 勝負に勝てるチャンス。

25 「異なる特徴・特性を持つものが共に存在すること」。日本語では「○○○性」、英語では「ダイバーシティ」といいます。

27 アフリカのサバンナにすむ草食動物。首と脚が長く、頭頂までの高さは6mにも達します。

28 『軍隊』『時計』など100曲以上もの交響曲を作曲し、「交響曲の父」と呼ばれます。



【答文】

A	B	C	D	E	F

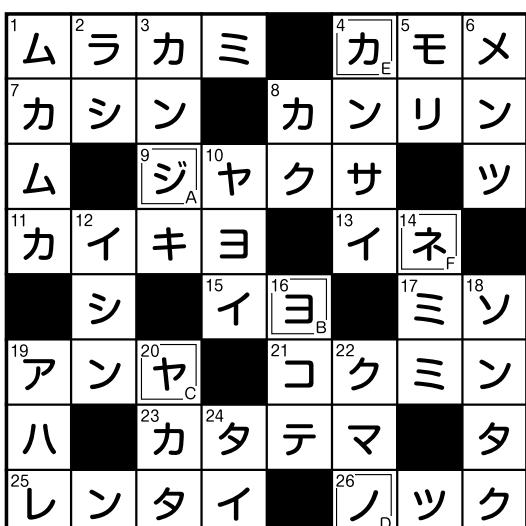
タ  
テ  
の  
ヒ  
ン  
ト

1	「旅に病んで夢は○○○をかけ廻る」 (松尾芭翁集)
2	1582年、豊臣秀吉は全国の耕地の面積や収穫高、所有者などの調査を命じました。これを○○○○検地といいます。
3	考え方が似ている人や気の合う人は自然に集まるもの。「○○は友を呼ぶ」といいます。
4	○○○は損氣。我慢、我慢。
5	弱い者でも、追詰められて逃げ場を失うと、強い者に立ち向かい、負けすことがあるというたゞ。「○○猫をかむ」といいます。
8	大阪府では、大阪市に次いで人口が多い○○○市。日本最大の古墳「大仙古墳」があることでも知られます。
10	その場の状況の変化に合わせて、適切な対応をする。「○○○応変」といいます。
12	農薬や化学肥料を使わずに作物を育てるひと。「○○○栽培」といいます。
14	上層雲に分類される○○○○雲。一般に「ひのく雲」「じわし雲」などと呼びます。
16	「八重むぐり しづれる宿の○○○○に 人へそ見えね 秋は来にけり」(恵美須法師)
18	杉田玄白・前野良沢によつて翻訳された「○○○○新書」。原書はオランダの医学書「ターヘル・アナトニア」です。
20	手紙、知らせ。「無事の○○○が届いた」などと使います。
22	2人以上で一緒に物事を行つときの、互いの微妙な気持。また、それが一致すること。「○○○の呼吸」といいます。
24	開けたり、反きたり、天に任せたり。さて、これは何?
26	○○川は琵琶湖から流れ出し、大阪湾に注ぎます。

## 前月号の解答と解説

【答二】

A	B	C	D	E	F
ジ	ヨ	ヤ	ノ	カ	ネ



★除夜の鐘

2022年も残りわずかとなりました。この1月号の発行日である12月13日は、「正月事始め」といって、毎年、お正月を迎える準備を始める日とされています。昔はこの日に、家の門口に立てる門松を作るための松の枝や、お雑煮を作るための薪など、お正月に必要な木を山などに取りに行きました。また、建物の梁や神具・仏具にたまつた1年間のほこりやすす払い落とす「すす払い」、いわば大掃除をこの日のに行う寺や神社も少なくありません。間もなく冬休みです。皆さんの家でも大掃除が予定されているのではないでしょうか。

そして、あとは新年を迎えるばかりの12月31日を「大みそか」といいます。「みそか」は「三十日」とも書き、毎月の最終日のこと。12月31日は1年の最後の日ということから「大」が付きます。大みそかに食べる物といえば「年越しそば」です。ある調査では、この日の「年越しそば」を食べる人は6割を超えていました。

年越しそばが庶民の間に定着したのは江戸時代です。いろいろな料理のかなからそばが選ばれた理由には、さまざまなお説があります。麵類のなかでも切れやすいので、「1年の苦労を断ち切つて新年を迎えるため」という説、細く長いつぶとかも、「長年を縮めて食べやすさ」にちなんだ「長い説」などです。

「除夜の鐘」も大みそかの夜の「定番」です。大みそかは「除日」（「除」には、古いものから去って、新しいものに移るという意味があります）ともいい、「除日の夜」ということで「除夜」と呼ばれるのです。そのときに寺で突く鐘が「除夜の鐘」です。時間帯と回数は寺によって違いますが、深夜0時をまたいで108回突くことが多いようです。なぜ108回なのか、これにも諸説ありますが、仏教の考え方では、人間には合計36類の煩惱（欲望・怒り・ねたみなど）があり、それが過去・現在・未来にあるため、36の3倍の108回、鐘を突くことで煩惱を消してしまうおうという説が一般的です。

三

- |              |              |            |             |
|--------------|--------------|------------|-------------|
| 1 村上（むらかみ）   | 17 みそ        | 1 むかむか     | 12 以心（いしん）  |
| 4 かもめ        | 19 暗夜（あんや）   | 2 裸子（らし）   | 14 寝耳（ねみみ）  |
| 7 過信（かしん）    | 21 国民（こくみん）  | 3 かんじき     | 16 横手（よこて）  |
| 8 咸臨（かんりん）   | 23 片手間（かたてま） | 4 関西（かんさい） | 18 忖度（そんたく） |
| 9 JAXA（ジャクサ） | 25 連帯（れんたい）  | 5 森（もり）    | 19 あはれ・あわれ  |
| 11 快挙（かいきょ）  | 26 ノック       | 6 面目（めんつ）  | 20 屋形（やかた）  |
| 13 イネ        |              | 8 閣（かく）    | 22 熊野（くまの）  |
| 15 伊予（いよ）    |              | 10 改生（やよい） | 24 タイ       |